

◆茶話会のルール◆

- ・だれもが自由な発言をしましょう。
- ・みんなで知恵とアイデア、意見を出し合いましょう。
- ・みんなの意見に耳を傾けましょう。
- ・他の人の意見を最初から否定しないようにしましょう。

日 時: 平成 27 年7月 28 日(火)

19時00分~

場 所:社会福祉センター

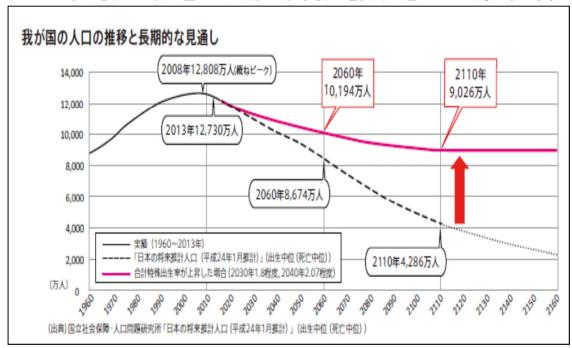
テーマ:結婚・出産・子育て



話題提供:「まち・ひと・しごと戦略茶話会」にあたって

1. 将来人口の推計

2008年に始まった我が国の人口減少は、今後加速度的に進んでいく見込みです。



人口減少社会は、湖南市においても例外でなく、2006 年3月の人口をピークに減 少傾向にあります。今後も減少傾向は進み、2060年の総人口は34,442人となり、 2010年の63%にまで減少する見込みです。

湖南市の将来人口推計 これまでの趨勢のまま進むと、 60,000 総人口 2060年の総人口は、2010年0 63%にまで減少の見込み 54.612人 20,170人(約37%) 15歳未満人口 の減少 50,000 2010年:8,054人 4,982人 (約62%) 総人口 14.7% 34,442人 40,000 15歳未満人口 2060年:3,072人 15歳~64歳人口 19,941人 (約53%) 8.9% 2010年:37.462人 30,000 15歳~64歳人口 68.6% 2060年:17.521人 50.9% 20,000 65歳以上人口 65歳以上人口 10,000 2060年:13,850人 2010年:9,096人 4,754人(約52%)の増加 16.7% 40.2% 2010年 2015年 2020年 2025年 2030年 2035年 2040年 2045年 2050年 2055年 2060年

「日本の将来推計人口」国立社会保障・人口問題研究所より

2. 人口の変化が地域の将来に与える影響

■暮らしへの影響

- ・地域コミュニティの希薄化・弱体化により、集落機能の低下や集落の維持が困難
- 利用者の減少により、バス路線の廃止や商店の閉店など日常生活に支障
- 管理が不十分な空き家の増加により、景観の悪化や災害時に支障
- 高齢者が増えることにより医療 介護従事者が不足
- 地域の祭りなど伝統行事等の担い手がいなくなり、地域文化の伝承が困難
- 子ども・若者世代の減少により、学校の統廃合や地域の活力が低下

■地域経済に与える影響

- 消費が減少し、経済活力が減少
- 生産年齢人口(労働人口)が減少することにより、労働力が不足

■行政に与える影響

- 税収が減少し、公共施設の維持や生活を支える社会資本の維持が困難
- 高齢者の増加により、社会保障費が増大

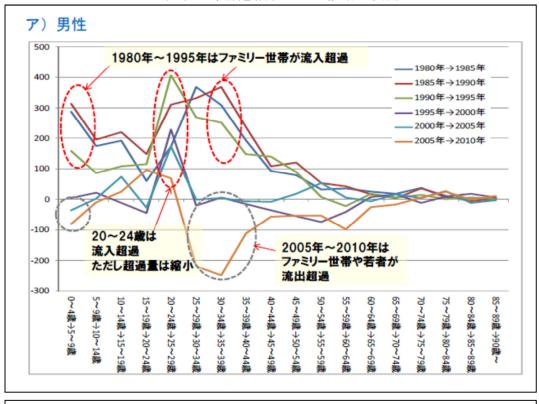
■その他の影響

担い手不足により、耕作放棄地の増加や森林の荒廃が進む

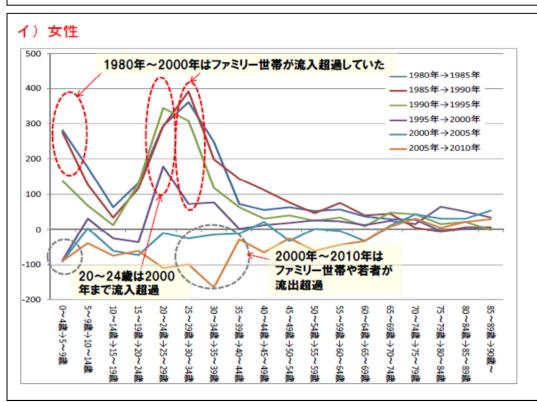
3. 目指すべき将来の方向

1)現状と課題

人口動態:出生・死亡、転入・転出の推移 (3) 出生・死亡、転入・転出の推移 4,500 この10年間は転出超過が続く 4,000 3,500 3,000 2,500 2,000 1,500 出生数が先細り始めている 1,000 -方で、死亡数は増加傾向 500 2005年 2006年 2007年 2008年 2009年 2010年 2011年 2012年 2013年 2014年 ---出生 ———死亡 --- 転入 ---転出 2004年 2005年 2006年 2007年 2008年 2009年 2010年 2011年 2012年 2013年 2014年 出生 627人 538人 561人 537人 528人 527人 539人 514人 484人 520人 484人 死亡 261人 287人 311人 305人 334人 354人 316人 402人 388人 395人 転入 3,579人3,462人3,466人3,275人3,306人3,048人2,534人2,321人2,573人2,436人2,498人 転出 3,628人 3,410人 3,767人 3,560人 3,575人 3,892人 3,055人 2,740人 2,783人 2,638人 2,573人



性別・年齢階級別の人口移動の状況

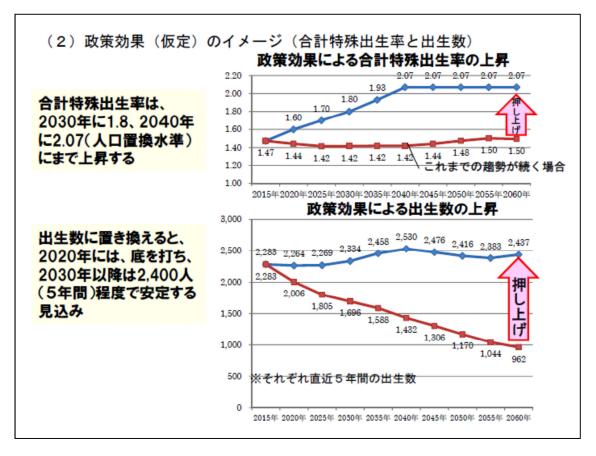


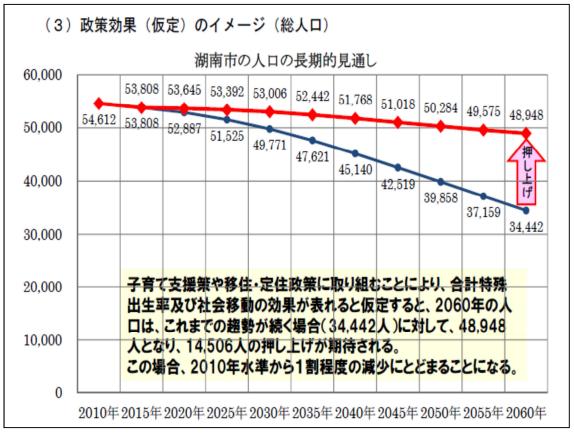
■湖南市の人口減少における課題

- ・出生数が横ばい(先細り)
- ・ 転出超過が続いている。
- ・特に若い女性の人口減少
- 死亡数が増加傾向
- ・ 若い世代の人口減少(転出)

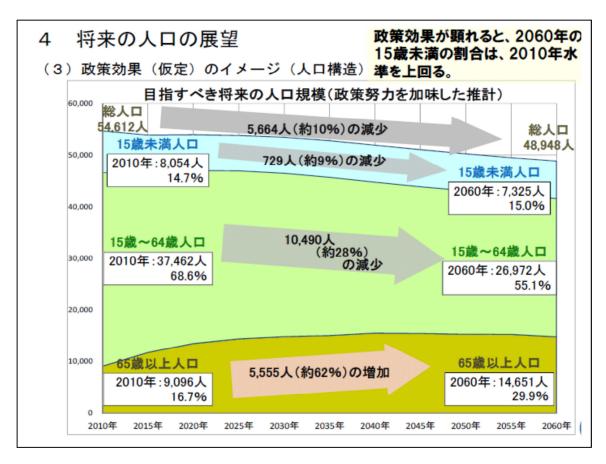
2) 人口の将来展望

政策効果による合計特殊出生率の上昇・総人口の上昇





4. 将来人口の展望

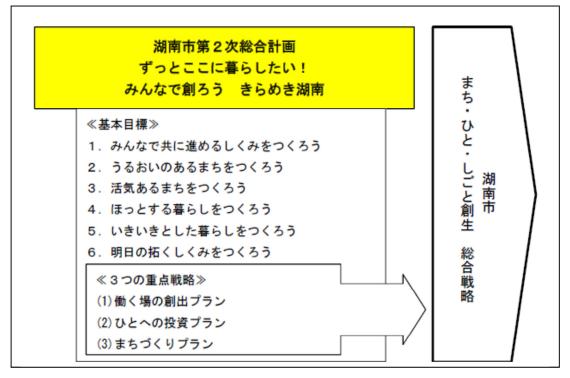


■湖南市の将来人口の展望

- 〇人口の減少を現在の総人口の約 10%減少で食い止める。
- ○2060年の15歳未満人口の割合は、2010年の水準を上回る。
- ○高齢化率は30%までに食い止める。
- 合計特殊出生率は 2030 年までに 1.8、2040 年までに 2.07 (人口置換水準)
- これまでの趨勢から見込まれる人口流出を、今後 10 年間で抑え、毎年 150 人の転入増加

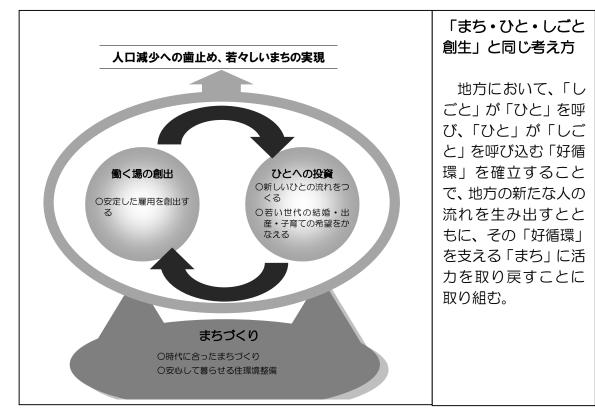
5. 湖南市版まち・ひと・しごと創生総合戦略

1)総合計画の重点プランとしての位置づけ

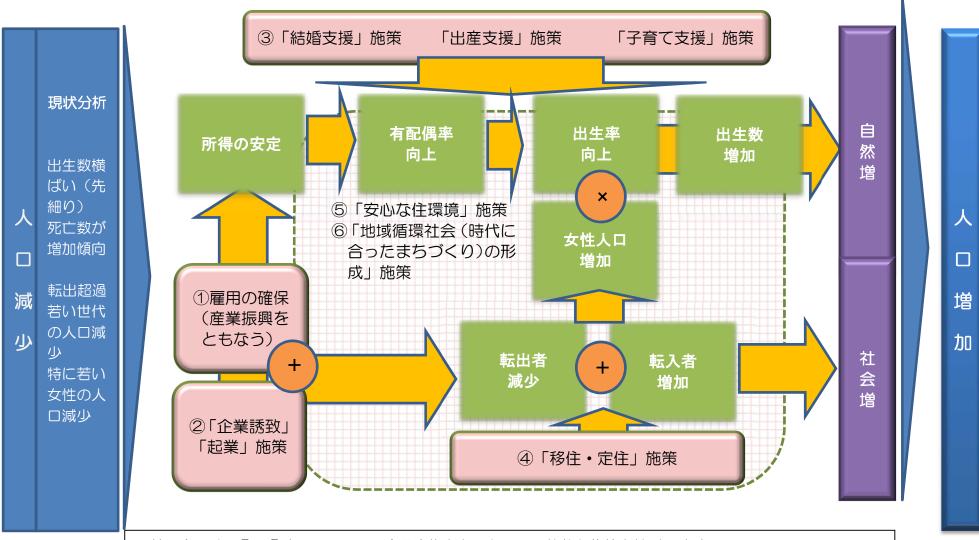


2) 3つの重点プラン

「湖南市版まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、3つの重点プラン「働く場の創出」、「ひとへの投資」、「まちづくり」とし、これを実現することで、人口減少への歯止め、若々しいまちの実現することを目指します。



3) 施策実施から人口増加につなげるイメージ



※茶話会では、①~⑥までのテーマで意見交換をおこない、具体的な施策を検討します。 みなさんが考える湖南市(まち)の特色(強みと弱み)を生かした施策の提案をお願いします。

まち・ひと・しごと戦略茶話会

人口減少への歯止め、若々しいまちの実現には、地域で支えあう子育て環境、暮らしやすい居住環境の実現、地域経済の活性化といった地域の活力を創生していくことが重要であると認識し、次の3つのプランを今後の施策の柱と位置付け、その課題に向けた施策を展開する。

● テーマ ● **ひと:「結婚・出産・子育て**」

⇒結婚や出産、子育てを望む人が、躊躇せずに踏み出すことができ、幸福度が高まるだけでなく、地域 の活力や若々しさを維持し続けることができるまちづくり

● 視 点 ●

〇結婚の支援

・結婚への理解や意欲、対話のスキルを高めたり、出会いを 支援

【例】婚活パーティーの実施

〇妊活の支援

・企業と連携し不妊治療と仕事の両立等を支援

〇出産・子育て支援

- ・出産までの各種の支援の充実、夜間保育など保育環境の充実
- ・学童保育の充実
- ・地域ぐるみでの子育て環境の確立

【例】地域での土曜日教室等の実施 コミュニティスクールの活性化 子育て支援センターの充実 発達支援システム

〇男性の家事・育児への参画促進

- ・企業と連携し、男性の育児休業取得を促進
- ・男性の育児力、生活力の向上を支援

【例】育メン交流会の実施



● 施 策 ア イ デ ア/

左側の「視点」を参考に、将来にわたって人口規模を維持するため、「結婚・出産・子育で、関して取り組むでき具体的な施策アについてご意見をサイブをよろしくお願いします